

巨大惑星

～ 木星・土星が見ごろ ～

2つの巨大惑星が見ごろを迎えました。9月下旬頃まで、木星・土星を見るチャンスです！

木星を見よう

～ 太陽系最大の惑星 ～



8月の20時30分頃、南の方角を見ると明るい星を見ることが出来ます。これが木星で、今は「いて座」の方向に見ることが出来ます。木星は私たちの太陽系の中で一番大きな惑星で、地球の約11倍あります。木星の特徴は「しま模様」です。望遠鏡では2本のすじとして見ることが出来ます。そして、もう一つの特徴が丸い目玉のような模様の「大赤斑」です。これは、持夢声表面で嵐が起こっている所で、350年以上前から存在していたと考えられています。以前は地球の2倍以上ありましたが、最近では1.3倍ほど小さくなっています。

そして、いずれは消滅すると考えられています。

木星の4大衛星

望遠鏡で木星を見ると、まわりにいくつかの星を見ることが出来ます。これは、木星のまわりをまわる「衛星」たちです。木星に近い順から「イオ」「エウロパ」「ガニメデ」「カリスト」という名前がついています。今から約400年前の1610年にガリレオが見つけたところから、「ガリレオ衛星」とも呼ばれています。1時間ほど間をあけて観察すると、位置が変わっているのがわかります。



木星と4つの衛星

土星を見よう

～ 輪を持つ不思議な惑星 ～



木星の左に見えている明るい星が土星です。土星は木星の次に大きな惑星で、直径が地球の約9倍あります。たいへん大きな惑星ですが、非常に軽い惑星で、平均密度が0.7倍しかありません。もし、土星が入る大きなプールがあれば、土星は水に浮いてしまいます。ちょっと不思議な惑星ですね。特徴は何といっても輪です。輪は氷のつぶで出来ています。

最新の研究では、輪が出来たのは今から1～2億年前、いずれは消滅してしまうと考えられています。

土星の衛星

望遠鏡で土星を見ると、近くにいくつか星が見えます。土星のまわりをまわる衛星です。一番明るく見えるのが「タイタン」という衛星です。それ以外にも暗い衛星たちの姿を5～6個見ることが出来ます。望遠鏡で土星を見るときには、まわりにある衛星たちにも注目してみましょう。

